

既存添加物名簿番号	名称	対象※
1	アウレオバシジウム培養液(アウレオバシジウムの培養液から得られた、 β - D - Glc - A を主成分とするものをいう。)	
2	アガラーゼ	
3	アクチニジン	
4	アグロバクテリウムスクシノグリカン(アグロバクテリウムの培養液から得られた、スクシノグリカンの主成分とするものをいう。)	
7	L-アスパラギン	
9	アスペルギルステレウス糖たん白質(アスペルギルステレウスの培養液から得られた、糖タンパク質を主成分とするものをいう。)	
10	α -アセトラクタートデカルボキシラーゼ	
13	アマシードガム(アマの種子から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)	
17	L-アラニン	L-アラニン液
19	アラビノガラクトン	
20	L-アラビノース	
24	アルミニウム	
25	アントシアナーゼ	
27	イソアルファー苦味酸(ホップの花から得られた、イソフムロン類を主成分とするものをいう。)	
28	イソマルトデキストラナーゼ	
29	イタコン酸	
30	イナワラ灰抽出物(イネの茎又は葉の灰化物から抽出して得られたものをいう。)	
31	イヌリナーゼ	
34	ウェランガム(アルカリゲネスの培養液から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)	
36	ウルシロウ(ウルシの果実から得られた、グリセリンパルミタートの主成分とするものをいう。)	
39	エステラーゼ	
40	エレミ樹脂(エレミの分泌液から得られた、 β -アミリンを主成分とするものをいう。)	
41	塩水湖水低塩化ナトリウム液(塩水湖水から塩化ナトリウムを析出分離して得られた、アルカリ金属塩類及びアルカリ土類金属塩類を主成分とするものをいう。)	
42	オゾケライト	
43	オゾン	
44	オリゴガラクチュロン酸	
45	γ -オリザノール(米ぬか又は胚芽油から得られた、ステロールとフェルラ酸及びトリテルペンアルコールとフェルラ酸のエステルを主成分とするものをいう。)	
46	オレガノ抽出物(オレガノの葉から得られた、カルバクロール及びチモールを主成分とするものをいう。)	
47	オレンジ色素(アマダイダイの果実又は果皮から得られた、カロテン及びキサントフィルを主成分とするものをいう。)	
48	海藻灰抽出物(褐藻類の灰化物から得られた、ヨウ化カリウムを主成分とするものをいう。)	
49	カオリン	
51	カキ色素(カキの果実から得られた、フラボノイドを主成分とするものをいう。)	
52	花こう斑岩	

※ 「対象」欄に記載があるものは、既存添加物名簿に記載されている「名称」欄の名称をもつ既存添加物のうち、「対象」欄に記すものが消除候補である旨を示している。

既存添加物名簿番号	名称	対象※
53	カシアガム(エビスグサモドキの種子を粉砕して得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)	
58	カテキン	
61	カラギナン(イバラノリ、キリンサイ、ギンナンソウ、スギノリ又はツノマタの全藻から得られた、 λ -カラギナン、 κ -カラギナン及び ι -カラギナンを主成分とするものをいう。)	ユーケマ藻末
66	カラメルⅡ(でん粉加水分解物、糖蜜又は糖類の食用炭水化物に亜硫酸化合物を加えて熱処理して得られたものをいう。ただし、第六十八号のカラメルⅣを除く。)	
71	カルボキシペプチダーゼ	
74	カワラヨモギ抽出物(カワラヨモギの全草から得られた、カピリンを主成分とするものをいう。)	
76	カンゾウ油性抽出物(ウラルカンゾウ、チョウカカンゾウ又はヨウカンゾウの根又は根茎から得られた、フラボノイドを主成分とするものをいう。)	
82	キチン	
84	キトサン	
85	キナ抽出物(アカキナの樹皮から得られた、キニジン、キニーネ及びシンコニン)を主成分とするものをいう。)	
86	キハダ抽出物(キハダの樹皮から得られた、ベルベリン)を主成分とするものをいう。)	
87	魚鱗箔(魚類の上皮部から抽出して得られたものをいう。)	
89	金	
90	銀	
92	グァーガム酵素分解物(グァーの種子を粉砕し、分解して得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)	
93	グアヤク脂(ユソウボクの幹枝から得られた、グアヤコン酸、グアヤレチック酸及び β -レジン)を主成分とするものをいう。)	
94	グアヤク樹脂(ユソウボクの分泌液から得られた、 α -グアヤコン酸及び β -グアヤコン酸)を主成分とするものをいう。)	
95	クエルセチン	
99	グッタハンカン(グッタハンカンの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。)	
100	グッタペルカ(グッタペルカの分泌液から得られた、ポリイソプレンを主成分とするものをいう。)	
101	クリストバル石	
104	グルコサミン	
108	α -グルコシルトランスフェラーゼ処理ステビア(ステビア抽出物(第六十九号のステビア抽出物をいう。))から得られた、 α -グルコシルステビオシドを主成分とするものをいう。)	α -グルコシルトランスフェラーゼ処理ステビオール配糖体
113	グレープフルーツ種子抽出物(グレープフルーツの種子から得られた、脂肪酸及びフラボノイド)を主成分とするものをいう。)	
114	クロー色素(ソメモノイモの根から抽出して得られたものをいう。)	
115	クローブ抽出物(チョウジのつぼみ、葉又は花から得られた、オイゲノール)を主成分とするものをいう。)	
116	クロロフィリン	
118	くん液(サトウキビ、竹材、トウモロコシ又は木材を燃焼して発生したガス成分を捕集し、又は乾留して得られたものをいう。)	木酢液、リキッドスモーク

既存添加物名簿番号	名称	対象※
120	ゲンチアナ抽出物(ゲンチアナの根又は根茎から得られた、アマロゲンチン及びゲンチオピクロシドを主成分とするものをいう。)	
121	高級脂肪酸(動植物性油脂又は動植物性硬化油脂を加水分解して得られたものをいう。)	
122	<p>香辛料抽出物(アサノミ、アサフェチダ、アジョワン、アニス、アンゼリカ、ウイキョウ、ウコン、オールスパイス、オレガノ、オレンジピール、カショウ、カシヤ、カモミール、カラシナ、カルダモン、カレーリーフ、カンゾウ、キャラウェイ、クチナシ、クミン、クレソン、クローブ、ケシノミ、ケーパー、コショウ、ゴマ、コリアンダー、サッサfras、サフラン、サボリー、サルビア、サンショウ、シソ、シナモン、シャロット、ジュニパーベリー、ショウガ、スターアニス、スペアミント、セイヨウワサビ、セロリー、ソーレル、タイム、タマネギ、タマリンド、タラゴン、チャイブ、チャービル、ディル、トウガラシ、ナツメグ、ニガヨモギ、ニジェラ、ニンジン、ニンニク、バジル、パセリ、ハッカ、バニラ、パプリカ、ヒソップ、フェネグリーク、ペパーミント、ホースミント、マジヨラム、ミョウガ、ラベンダー、リンデン、レモングラス、レモンバーム、ローズ、ローズマリー、ローレル又はワサビから抽出し、又はこれを水蒸気蒸留して得られたものをいう。ただし、第三十五号のウコン色素、第四十六号のオレガノ抽出物、第四十七号のオレンジ色素、第六十四号のカラシ抽出物、第七十五号のカンゾウ抽出物、第七十六号のカンゾウ油性抽出物、第九十八号のクチナシ黄色素、第一百五号のクローブ抽出物、第三十六号のゴマ油不けん化物、第五十八号のシソ抽出物、第六十二号のショウガ抽出物、第七十四号の精油除去ウイキョウ抽出物、第七十五号のセイヨウワサビ抽出物、第七十八号のセージ抽出物、第九十号のタマネギ色素、第九十一号のタマリンド色素、第九十二号のタマリンドシードガム、第九十八号のタンニン(抽出物)、第二百五号のトウガラシ色素、第二百十六号のトウガラシ水性抽出物、第二百三十六号のニガヨモギ抽出物、第二百三十八号のニンジンカロテン及び第三百六十五号のローズマリー抽出物を除く。)</p>	
124	酵素処理ナリンジン(ナリンジン(第二百三十四号のナリンジンをいう。))から得られた、 α -グルコシルナリンジンを主成分とするものをいう。)	
127	酵素処理レシチン(植物レシチン(第六十六号の植物レシチンをいう。))又は卵黄レシチン(第三百四十六号の卵黄レシチンをいう。))から得られた、ホスファチジルグリセロールを主成分とするものをいう。)	
128	酵素分解カンゾウ(カンゾウ抽出物(第七十五号のカンゾウ抽出物をいう。))を酵素分解して得られた、グリチルレチン酸—三—グルクロニドを主成分とするものをいう。)	
129	酵素分解リンゴ抽出物(リンゴの果実を酵素分解して得られた、カテキン類及びクロロゲン酸を主成分とするものをいう。)	
135	骨炭色素(骨を炭化して得られた、炭素を主成分とするものをいう。)	
136	ゴマ油不けん化物(ゴマの種子から得られた、セサモリンを主成分とするものをいう。)	
137	ゴマ柄灰抽出物(ゴマの茎又は葉の灰化物から抽出して得られたものをいう。)	
138	ゴム(パラゴムの分泌液から得られた、ポリイソプレンを主成分とするものをいう。ただし、第二百八号の低分子ゴムを除く。)	
139	ゴム分解樹脂(ゴム(前号のゴムをいう。))から得られた、ジテルペン、トリテルペン及びテトラテルペンを主成分とするものをいう。)	
140	コメヌカ油抽出物(米ぬか油から得られた、フェルラ酸を主成分とするものをいう。)	

既存添加物名簿番号	名称	対象※
141	コメヌカ酵素分解物(脱脂米ぬかから得られた、フィチン酸及びペプチドを主成分とするものをいう。)	
142	コメヌカロウ(米ぬか油から得られた、リグノセリン酸ミリシルを主成分とするものをいう。)	
144	サトウキビロウ(サトウキビの茎から得られた、パルミチン酸ミリシルを主成分とするものをいう。)	
145	サバクヨモギシードガム(サバクヨモギの種皮から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)	
148	酸素	
149	シアナット色素(シアノキの果実又は種皮から抽出して得られたものをいう。)	
151	セラック(ラックカイガラムシの分泌液から得られた、アレウリチン酸とシェロール酸又はアレウリチン酸とジャラル酸のエステルを主成分とするものをいう。)	
152	セラックロウ(ラックカイガラムシの分泌液から得られた、ろう分を主成分とするものをいう。)	
154	ジェルトン(ジェルトンの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。)	
158	シソ抽出物(シソの種子又は葉から得られた、テルペノイドを主成分とするものをいう。)	
159	シタン色素(シタンの幹枝から得られた、サンタリンを主成分とするものをいう。)	
161	ジャマイカカussia抽出物(ジャマイカカussiaの幹枝又は樹皮から得られた、クアシン及びネオクアシンを主成分とするものをいう。)	
162	ショウガ抽出物(ショウガの根茎から得られた、ショウガオール及びジンゲロールを主成分とするものをいう。)	
163	焼成カルシウム(うに殻、貝殻、造礁サンゴ、ホエイ、骨又は卵殻を焼成して得られた、カルシウム化合物を主成分とするものをいう。)	うに殻焼成カルシウム、造礁サンゴ焼成カルシウム、乳清焼成カルシウム
165	植物炭末色素(植物を炭化して得られた、炭素を主成分とするものをいう。)	
168	水素	
169	ステビア抽出物(ステビアの葉から抽出して得られた、ステビオール配糖体を主成分とするものをいう。)	ステビオール配糖体
170	ステビア末(ステビアの葉を粉砕して得られた、ステビオール配糖体を主成分とするものをいう。)	
172	スフィンゴ脂質(米ぬかから得られた、スフィンゴシン誘導体を主成分とするものをいう。)	
173	生石灰	
174	精油除去ウイキョウ抽出物(ウイキョウの種子から得られた、グルコシルシナピルアルコールを主成分とするものをいう。)	
175	セイヨウワサビ抽出物(セイヨウワサビの根から得られた、イソチオシアナートを主成分とするものをいう。)	
176	ゼイン(トウモロコシの種子から得られた、植物性タンパク質を主成分とするものをいう。)	
177	ゼオライト	
178	セージ抽出物(サルビアの葉から得られた、カルノシン酸及びフェノール性ジテルペンを主成分とするものをいう。)	
179	セピオライト	
182	粗製海水塩化カリウム(海水から塩化ナトリウムを析出分離して得られた、塩化カリウムを主成分とするものをいう。)	
184	ソバ柄灰抽出物(ソバの茎又は葉の灰化物から抽出して得られたものをいう。)	
185	ソルバ(ソルバの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。)	

既存添加物名簿番号	名称	対象※
186	ソルビンハ(ソルビンハの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。)	
187	ダイズサポニン(ダイズの種子から得られた、サポニンを主成分とするものをいう。)	
195	胆汁末(胆汁から得られた、コール酸及びデソキシコール酸を主成分とするものをいう。)	
196	単糖・アミノ酸複合物(アミノ酸と単糖類の混合物を加熱して得られたものをいう。)	
198	タンニン(抽出物)(カキの果実、五倍子、タラ末、没食子又はミモザの樹皮から得られた、タンニン及びタンニン酸を主成分とするものをいう。)	柿タンニン、ミモザタンニン
199	チクル(サボジラの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。)	
200	窒素	
201	チャ乾留物(チャの葉を乾留して得られたものをいう。)	
202	チャ抽出物(チャの葉から得られた、カテキン類を主成分とするものをいう。)	
203	チルテ(チルテの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。)	
205	ツヌー(ツヌーの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。)	
206	ツヤプリシン(抽出物)(ヒバの幹枝又は根から得られた、ツヤプリシン類を主成分とするものをいう。)	
208	低分子ゴム(パラゴムの分泌液を分解して得られた、ポリイソプレンを主成分とするものをいう。)	
209	テオブロミン	
212	鉄	
214	銅	
216	トウガラシ水性抽出物(トウガラシの果実から抽出して得られた、水溶性物質を主成分とするものをいう。)	
217	動物性ステロール(魚油又はラノリン(第三百四十三号のラノリンをいう。))から得られた、コレステロールを主成分とするものをいう。)	
226	トリブシン	
227	トレハロース	
228	トレハロースホスホリラーゼ	
229	トロロアオイ(トロロアオイの根から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)	
231	ナフサ	
232	生コーヒー豆抽出物(コーヒーの種子から得られた、クロロゲン酸及びポリフェノールを主成分とするものをいう。)	
235	ニガーグッタ(ニガーグッタの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。)	
236	ニガヨモギ抽出物(ニガヨモギの全草から得られた、セスキテルペンを主成分とするものをいう。)	
237	ニッケル	
239	ばい煎コメヌカ抽出物(米ぬかから得られた、マルトールを主成分とするものをいう。)	
240	ばい煎ダイズ抽出物(ダイズの種子から得られた、マルトールを主成分とするものをいう。)	
241	パーオキシダーゼ	
242	白金	
246	パラジウム	
247	パラフィンワックス	
249	ヒアルロン酸	
254	L-ヒドロキシプロリン	

既存添加物名簿番号	名称	対象※
255	ヒマワリ種子抽出物(ヒマワリの種子から得られた、イソクロロゲン酸及びククロゲン酸を主成分とするものをいう。)	
256	ひる石	
257	ファーセララン(フルセラリアの全藻から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)	
258	ファフィア色素(ファフィアの培養液から得られた、アスタキサンチンを主成分とするものをいう。)	
259	フィシン	
262	フィチン(抽出物)(米ぬか又はトウモロコシの種子から得られた、イノシトールヘキサリン酸マグネシウムを主成分とするものをいう。)	
263	フェリチン	
265	フクロノリ抽出物(フクロノリの全藻から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)	
266	ブタン	
268	ブドウ果皮抽出物(アメリカブドウ又はブドウの果皮から得られた、ポリフェノールを主成分とするものをいう。)	
270	ブラジルカンゾウ抽出物(ブラジルカンゾウの根から得られた、ペリアンドリンを主成分とするものをいう。)	
275	プロパン	
276	プロポリス抽出物(ミツバチの巣から得られた、フラボノイドを主成分とするものをいう。)	
278	L-プロリン	L-プロリン液
281	粉末モミガラ(イネのもみ殻から得られた、セルロースを主成分とするものをいう。)	
282	ペカンナッツ色素(ピーカンの果皮又は渋皮から得られた、フラボノイドを主成分とするものをいう。)	
287	ヘゴ・イチヨウ抽出物(イチヨウ及びヘゴの葉から抽出して得られたものをいう。)	
295	ベネズエラチクル(ベネズエラチクルの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。)	
297	ヘプタン	
302	ヘリウム	
306	没食子酸	
307	ホホバロウ(ホホバの果実から得られた、イコセン酸イコセニルを主成分とするものをいう。)	
311	マクロホモプシスガム(マクロホモプシスの培養液から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)	
312	マスチック(ヨウニユウコウの分泌液から得られた、マスチカジエノン酸を主成分とするものをいう。)	
313	マッサランドバチョコレート(マッサランドバチョコレートの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。)	
314	マッサランドババラタ(マッサランドババラタの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。)	
316	マルトースホスホリラーゼ	
318	未焼成カルシウム(貝殻、真珠の真珠層、造礁サンゴ、骨又は卵殻を乾燥して得られた、カルシウム塩を主成分とするものをいう。)	貝殻未焼成カルシウム、骨未焼成カルシウム、真珠層未焼成カルシウム、卵殻未焼成カルシウム
321	ミルラ(ポツヤクの分泌液から抽出して得られたものをいう。)	
324	ムラサキヤマイモ色素(ヤマイモの塊根から得られた、シアニジンアシルグルコシドを主成分とするものをいう。)	
325	ムラミダーゼ	
326	メナキノン(抽出物)(アルトロバクターの培養液から得られた、メナキノン—四を主成分とするものをいう。)	

既存添加物名簿番号	名称	対象※
327	メバロン酸	
328	メラロイカ精油(メラロイカの葉から得られた、精油を主成分とするものをいう。)	
329	モウソウチク乾留物(モウソウチクの茎を乾留して得られたものをいう。)	
330	モウソウチク抽出物(モウソウチクの茎の表皮から得られた、二・六―ジメトキシ―・四―ベンゾキノンを主成分とするものをいう。)	
331	木材チップ(ハシバミ又はブナの幹枝を粉碎して得られたものをいう。)	
332	木炭(竹材又は木材を炭化して得られたものをいう。)	
333	モクロウ(ハゼノキの果実から得られた、グリセリンパルミタートを主成分とするものをいう。)	
334	木灰(竹材又は木材を灰化して得られたものをいう。)	
335	木灰抽出物(木灰(前号の木灰をいう。))から抽出して得られたものをいう。)	
336	モモ樹脂(モモの分泌液から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)	
343	ラノリン(ヒツジの毛に付着するろう様物質から得られた、高級アルコールと α -ヒドロキシ酸のエステルを主成分とするものをいう。)	
344	ラムザンガム(アルカリゲネスの培養液から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)	
346	卵黄レシチン(卵黄から得られた、レシチンを主成分とするものをいう。)	
347	L-リシン	L-リシン、L-リシン液
350	リポキシゲナーゼ	
352	流動パラフィン	
353	リンターセルロース(ワタの単毛から得られた、セルロースを主成分とするものをいう。)	
355	ルチン(抽出物)(アズキの全草、エンジュのつぼみ若しくは花又はソバの全草から得られた、ルチンを主成分とするものをいう。)	アズキ全草抽出物、ソバ全草抽出物
356	ルテニウム	
357	レイシ抽出物(マンネンタケの菌糸体若しくは子実体又はその培養液から抽出して得られたものをいう。)	
358	レッチュデバカ(レッチュデバカの分泌液から得られた、アミリンエステルを主成分とするものをいう。)	
359	レバン(枯草菌の培養液から得られた、多糖類を主成分とするものをいう。)	
362	ログウッド色素(ログウッドの心材から得られた、ヘマトキシリンを主成分とするものをいう。)	
363	ロシディンハ(ロシディンハの分泌液から得られた、アミリンアセタート及びポリイソプレンを主成分とするものをいう。)	
364	ロシン(マツの分泌液から得られた、アビエチン酸を主成分とするものをいう。)	
365	ローズマリー抽出物(マンネンロウの葉又は花から得られた、カルノシン酸、カルノソール及びロスマノールを主成分とするものをいう。)	